



## 外国出張報告書

平成 27 年 11 月 12 日

1. 出張国名      ベトナム
2. 出張月        平成 27 年 9 月
3. 出張目的      ジャトロファの生育調査および研究打ち合わせ：C

#### 4. 成果の概要

ベトナム北部のHanoi近郊のBa vi圃場および南部のHo chi minh city近郊のTrang bang圃場において、ジャトロファの病虫害の発生および開花・結実の状況を調査した。胴枯れ様の病害について、Ba vi圃場においては、移植後約5年で、調査した範囲の96.5%の株に発症が観察され、うち28.1%がすでに収穫が全く見込めない重度の進行または枯死に至っていた。Trang bang圃場においては、発症すると健全な株に植え直しているため、現時点で病徴はほとんど観察されなかったが、植え直しの履歴を確認して、移植後約5～8年での発症率は35.5%であると推定した。これらから、現状の環境条件および管理方法の下では、Trang bang圃場よりBa vi圃場の方が、この病害の発症率が高いと考えられる。Ba vi圃場では枯死したジャトロファの跡に、ベトナム北部における新しいバイオディーゼル燃料の原料候補として、ポンガミアの移植を進めている。また、Trang bang圃場では新たに2種類の虫害が見出された。なお、今回の出張ではHa long炭鉱跡地圃場も調査予定であったが、直前の水害により圃場のある山頂への道が閉鎖されていたため、中止とした。